

## 石見銀山世界遺産センター

世界遺産センターは、石見銀山への入り口です。来訪者はここに立ち寄り、銀鉱山とその周辺を観光する前に自分がいる位置を確認します。世界遺産区域のすぐ外側にある同センターには博物館があり、銀鉱山の歴史を包括的に紹介しています。来訪者は特に、1527 年の石見銀山の発見、上質な銀の大量生産を可能にした精錬技法である灰吹法、江戸時代（1603～1867）の鉱山労働者とその家族の生活、そして石見銀山で生産された銀が世界経済と日本経済に与えた影響について学ぶことができます。

展示には、ジオラマ、ビデオ、インタラクティブ展示が含まれ、そこで得られる背景知識は、石見銀山観光をより満足度の高い経験へと変えてくれます。さまざまな参加型プログラムも提供されており、銀アクセサリー作りのワークショップ、砂をふるいにかけて銀の小片を探す体験教室、そして意欲的な来訪者向けには、灰吹法の背後にある科学についての紹介などがあります。

展示を見た後は、インフォメーションデスクで、各自の関心に合わせた形で観光についてのアドバイスを受けることができます。世界遺産区域は広大なエリアに広がっているため、センターで事前にルートを計画することをおすすめします。区域内での駐車は制限されているため、来訪者にはセンターに車を置き、シャトルバスで大森町に向かうようお願いしています。大森町の銀山公園では、電動自転車のレンタルを行っています。また、センター裏から遊歩道を通って展望台まで登り、そこから徒歩で大森町に向かうことも可能です。このルートとその他の徒歩ルートが載った無料の地図は、インフォメーションデスクで入手できます。